

メ ッ セ ー ジ

核兵器のない平和で公正な世界を願い「原水爆禁止2019年世界大会」を実施される実行委員会の皆様方に深く敬意を表します。

戦後、長い年月が経過し、戦争によって引き起こされた悲惨な出来事の記憶は次第に薄くなり、戦争を知らない世代が国民の多数を占めるようになりました。しかし、戦争により心と体に傷を負われた方々、放射能の後遺症に苦しむ被爆者の方々やその家族がおられることは決して忘れてはならない事実であります。

日本は世界で唯一の被爆国であり、核兵器の廃絶と世界の恒久平和は国民共通の願いであります。広島、長崎の惨禍が二度と繰り返されぬよう、戦争体験や被爆体験を風化させることなく、未来を担う世代に、また広く世界に、平和の尊さを語り継いでいかななくてはならないと思っております。

茅ヶ崎市では、「平和都市宣言」、「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言」を行っており、平成22年5月1日付けで平和首長会議にも加盟しております。平成29年8月には「原爆の子の像」のモデルとして知られる佐々木禎子さんの折った折り鶴が寄贈されました。この折り鶴は多くの市民の皆様に見ていただくため、現在、市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザに展示しています。このように、幅広い世代の方々に向けて、核兵器のない平和な世界の実現のために、多くの平和事業に取り組んでおります。

今後も市民の皆様とともに、世界の恒久平和の確立と、誰もが心豊かに、そして平和に暮らせるより良い社会の実現に向けて努力してまいります。

核兵器の廃絶と恒久平和の実現は、平和を愛する人類共通の願いであります。この実現に向けて、非核平和運動に取り組んでおられます皆様方の「原水爆禁止2019年世界大会」が実りあるものとなり、この地球に真の平和が訪れることを願い、メッセージといたします。

令和元年8月

茅ヶ崎市長 佐藤 光